2025年度学修成果等アンケートの自由記述欄に記載された意見についての回答について

No.	回答作成	学生の意見	回答
問1	外国語学部（日本語学科）	学生への要望は出すのに自分は遅刻したり、グループワークはできないからしないなどといった講義を最適化する努力を怠っている教師がいるのはどうかと思った。また資格などの講義で表面的なことしかせず本当に必要になる部分などを疎かにしているのもどうかと思う。	学科には専門科目が多くあり、その科目の性質上、講義形式の授業形態をとっているものがあります。各教員の授業は、それぞれのシラバスに沿って行われており、学科としては各教員の授業を尊重しております。 ご指摘のありました遅刻については、科会を通して注意を促してまいります。グループワークについては、科目の性質に関わる点も含め、今後注視してまいります。
問2	外国語学部（英米語学科）	英米語は、必修授業が多すぎるし、課題が多すぎて体がついていけない、つらい。自分が本当にやりたい勉強ができなくて、力が伸びない。	現状のILP科目（Integrated Englishを含む）については、科目数が多いことから、各科目の進捗状況を教員間で常に把握しております。課題の総量についても、教員間で会議を重ね、適切な量となるよう調整しております。 いただいたご意見を踏まえ、改めて学科内で話し合い、検討を進めてまいります。
問3	外国語学部（英米語学科）	同じ授業名なのに先生によって評価基準や授業方式が違ったりすることがある。それくらい統一してほしい、やる気のない教授一定数居る	同一名称の授業科目については、到達目標、評価基準、授業形態について統一性をもって運用し、その内容を学生の皆さんにお示ししております。 運用に差が生じることのないよう、科会において改めて確認してまいります。
問4	外国語学部（英米語学科）	進級要件を達成したい気持ちはもちろん強くあるのですが、授業があまり合理的ではないので、先生方は本当に進級させる気があるのかだけ気になりました	進級要件に関わる授業については、進級基準のスコアを取得できるよう指導しております。課題の内容や授業の進め方についても、各教員が留意するよう努めております。 学科としては、授業に加え、勉強会や直前講習を通じて、四技能の向上を目指しております。
問5	外国語学部（英米語学科）	入学前試験で、元々英語を話せる人が楽なクラスに行きたいから等の理由で手を抜く人がいるため、大学1年生の時のintegrated English で同じクラスになってしまい、話せない側の私は萎縮して、より話せなくなったり、授業に行きたくなくなったりして学びの集中できず辛い思いをしたので何か良い対策があれば良いなと思います。	クラス分けは、1年次の最初に実施するプレイスメントテストの結果により行っております。 ご指摘のような事例が生じないよう、テストの実施方法を含めて学科で検討してまいります。
問6	外国語学部（英米語学科）	3年生になってから英語を使う機会が減ったので、Integrated Englishのような英語でコミュニケーションを取る講義は続けた方がいいと思いました。	1年次及び2年次においては、英語の基礎的な科目を履修し、段階的にスキルを積み上げる、基礎から応用へというカリキュラムを編成しております。3年次及び4年次は専門的な科目が中心となるため、一般的な語学科目ではなく特講科目という形で学修を進める方式をとっておりますが、オールイングリッシュで開講している授業（スキル科目等）もありますので、積極的に受講してください。
問7	外国語学部（中国語学科）	外国語を学んでいるのに全く話す機会がない。ただ教科書を読むだけでは語学力が身につかない。個人で勉強の機会を設けろと言うのならせっかくの大学という機構が無駄に感じる。留学支援の制度を受けるために大学に来たわけではないから、シラバスから見直して本当に学生がスキルを身に付けられる場所にしてほしい。	1年次においては、漢語会話Ⅰ・Ⅱで北京師範大学からの招聘教員によるAll Chineseの会話の授業を行っております。2年次においては、CLMは漢語会話Ⅲ・Ⅳ、GSMは漢語実践Ⅲ・Ⅳで、会話もしくは会話の基盤となる短文の授業を行っております。3年次においては口頭表現演習Ⅰ・Ⅱを設け、北京師範大学からの招聘教員によるAll Chineseの授業を行っております。 会話力は、音読に始まり、暗唱を経て、しだいにテーマ別の発話、対話へと発展することで養成されます。担当教員には、この点を受講者に強調して伝え、ディベートのテーマ等について学生の希望をいっそう取り入れるよう指示いたしました。
問8	経済学部	授業に毎回遅刻してくる先生がいる、それに対してあまり悪気がないのはいかがなものなのかと思います	授業に毎回遅刻があるとのご指摘を受け、該当する教員に注意しました。授業時間は学生の皆さんの学修機会であり、定刻に開始することは教員の責務と考えています。今後も同様のことがあれば、学部の会議等を通じて注意喚起を行います。
問9	経済学部	経済学部でERE経済学検定がありますが経済学について学んだことについてのテストとして行うのは非常にいいと思いますがあまりにも就活で使えなかったこと、金銭的な面で大変なことになるので検定を受けさせるのではなく学校のテストとして実施していただきたかったです。	外部試験による学修成果の可視化のため実施しており、経済学部での学びの到達度を示す試験として適切と考えています。受験料は団体受験により4,000円としており、当該科目では教科書を指定しないことで負担の軽減を図っています。就職活動での活用については、学部として情報提供の方法を検討します。
問10	経済学部	シラバスと内容が違う時があるのでもっと正確に詳しく書くべきだと思う	シラバスは授業内容の約束として重要であり、正確な記載に努めます。ご指摘を踏まえ、担当教員に改めて注意喚起します。なお、時事的な事象を扱うため各回の順序が前後する場合がありますが、その際は初回授業又はmanaba等で変更内容をお知らせします。
問11	経済学部	今外国人1年生で経済的な言葉に慣れてなくてその言葉をちゃんと説明してくれた先生がいますが、ちゃんと説明しないでそのまま教えてくれる先生もいます。最初一年生なのでまずはその経済的な言葉を説明してほしかったです。	留学生が多く履修する低年次の専門科目には、板書を丁寧に行う教員を配置しています。専門用語の説明についてはご指摘を踏まえ、学科内で工夫を共有します。授業中に分からない用語があれば、遠慮なく担当教員に質問してください。
問12	経済学部	グループワークやディスカッションなどは苦手な人もいて、それを行ったことが原因で精神的な苦痛やストレスを抱える人もいることを忘れないで欲しい。	グループワークやディスカッションは、他者の視点に触れ、自分の考えを言葉にする力を養う目的で取り入れています。一方で、強い負担を感じる学生がいることも認識しています。負担が大きい場合は合理的配慮の申請により個別に対応しますので、学生支援課又は担当教員にご相談ください。
問13	不動産学部	不動産学部の先生と授業の質が悪いので、改善してほしいです。授業内のアンケートでは、生徒がうるさいということばかりスポットが当たります。しかし私は、先生に問題があると感じています。 例えば、先生の専門と授業が一致していないという問題があります。土地と建物の金融では、歴史や政治の先生が金融を教えています。土地と建物の投資では、都市計画の先生が、投資を教えています。先生の専門と授業内容が異なることは、授業の質を大きく下げる要因になるでしょう。もうすこし、先生の専門と授業を一致させる努力をしたほうがいいと思います。金融の授業なら金融の、投資なら投資の専門家がすべての回の授業をしてください。 また、先生が授業内容に興味がないなどの不適切な発言も控えてほしいです。授業の空気が悪くなります。加えて、厳しすぎるのも問題だと感じています。授業内容が悪いのにもかかわらず、それを厳しく教えられるのは、苦痛です。厳しいのが問題なのではなく、授業内容の質が悪いのに厳しいのが問題です。厳しくするなら授業の質を上げてからにしてください。	ご意見の対象となっている授業は、1年次の必修科目（6学群）の一つであると認識しております。この必修科目は、高度な内容に触れることよりも、1年生がこれから不動産学を学んでいくための関心を喚起することに主眼を置いております。そのため、幅広い観点から基本的な事項を教授できるよう、各科目に工学・経済学・法学の3名の教員を配置しております。より専門的な内容については、3年次以降の6学群科目の中で学んでいただけるものと考えております。 なお、教員が授業の内容に興味がないなどの発言をした事実があるとすれば、その点については注意喚起いたします。
問14	不動産学部	もう少し不動産の専門的知識やって欲しい	1・2年次のカリキュラムは、不動産学への関心を高め、基礎的な知識等を学ぶ期間と位置づけているため、基本的な内容が中心となります。3・4年次は専門的・応用的な学修が中心となり、カリキュラム上もそのような科目を配当しております。 さらに専門的に学びたい分野がありましたら、ゼミ担当教員又は学部事務にお寄せください。
問15	不動産学部	ちゃんとやっている人とあまり真面目にやっていない人どちらにフォーカスを当てて授業がしたいのかが分からない授業がある	授業科目や開講学年によって異なるため一概には申し上げられませんが、授業は、学修に真摯に取り組むことを前提として設計しております。
問16	不動産学部	先生の方が教える立場なのにハラスメントとかで生徒を怒らないのはなんか違う気がする。 一般的な範疇で怒らず叱るときは叱ってほしい	不動産学部では、教員間の申し合わせとして、私語等には注意し、良好な受講環境を作り出すこととしております。学生に対する指導と、ハラスメントとは異なるものと認識しております。
問17	HT学部	英語学習の意欲を掻き立てられるような授業が受けられないと感じた。 特にHT学部では進級要件を達成することが英語学習の終着点となっており、実用的な英語能力を培うような授業が受けられない場面があった。 より意義のある英語学習が受けられる環境を提供してほしい。	HT学部では進級要件達成後に実用的な英語力を磨ける授業は提供しています。例えばAdvanced English Skills A/Bは日常会話・ビジネス会話、E/Fは読解力・記述力、パーソナルコミニケーション実践演習Dは英語によるプレゼンテーション・スキルが実践的に学べます。進級要件を達成したのちは積極的にこれらの授業を履修してさらに英語力を高めてください。
問18	HT学部	出なくても良い補習に参加しないことによって、授業始めに怒る先生がいたことが不満です。怒る時に「進級要件達成してない人が多いのに何故来ないか」という理由で怒られましたが、その場には進級要件達成してる人もしてない人も存在していて、あの場で怒ることはとても時間の無駄だと思いました。	同様のご報告があり、該当する教員にはフィードバックを行いました。後期以降も同様のことがありましたら、ゼミ担当教員を通じてご連絡ください。
問19	HT学部	HT学部のgrammarの講義が時間の無駄にしか思えないくらい全く為にならない講義だと感じました。	Grammarの授業は、進級要件の水準に達していない学生を主な対象として設計しているため、学生によっては内容が平易に感じられる場合があります。 2026年度入学生からは、検定試験（英検・TOEFL・IELTS）で所定の成績を収めた場合、Grammarを含む英語関連科目について最大8単位まで単位認定できる制度に移行しております。
問20	HT学部	教科書を買わされるけれど使わない教科が多く、安くはない教材のため疑問に思ったり無駄だと感じることが多い。	教科書は、授業で使用することを前提として、シラバスにおいて指定しております。ただし、授業の進め方によっては、使用する回数が限られる場合もあります。指定された教科書の使い方について疑問に感じた場合は、担当教員にご相談ください。

2025年度学修成果等アンケートの自由記述欄に記載された意見についての回答について

No.	回答作成	学生の意見	回答
問21	保健医療学部	一貫性のない理不尽な教育は意味がないと思う。	保健医療学部では医療専門職を養成する立場から、患者の安全や生命に関わる責任を踏まえ、知識・技術だけでなく学修態度や実技等についても一定の基準を設けて指導しています。このような医療職専門教育の厳格さが学生にとって「理不尽」「一貫性がない」と感じられた可能性もあります。今後は指導の目的や基準をより丁寧に説明するとともに、教員間で指導方針をこれまで以上に共有し、より一層一貫性と公平性のある指導に努めます。
問22	保健医療学部	保健医療学部だけ省かれている感じがすごい	保健医療学部は医療系の教育課程として、実習など独自の授業運用が多く、他学部と活動や施設利用等の機会が異なることや、第2講義棟の場所が講義棟や学生食堂などから離れていることなどから、「省かれている」と感じられた可能性があります。今後、全学的な情報や学生支援の機会が学部間で偏りなく届いているかを確認し、関係部署と連携して必要な改善を検討します。
問23	保健医療学部	学習の仕方は個人のやりやすい方法があるのに、時間を決めて縛られるのは逆にやりにくいです。また大勢いる中でおしゃべりする人もいて全然集中できませんでした。事前事後学習はあまり効果なかったと感じることが多かったです。	大学では、1回の授業に対して授業の前後に「事前学習」および「事後学習」を行うことが大学設置基準で定められています。しかし、これを学生個人の判断に任せるだけでは、学修の進み方に差が生じ、十分な理解につながらないことがあります。保健医療学部では、①授業内容の予習・復習による理解の深化、②学修習慣の定着、③国家試験合格に向けた基礎力の強化を目的として、「事前事後学修」の一部を計画的・体系的に実施しています。 2026年度は4月から運用方針を見直し、学修時間を1科目40分として1コマで2科目の事前事後学修を終了するように設定しております。
問24	保健医療学部	実技について、学生復習用に動画をアップして頂きたい。繰り返し見れるようなシステムがあると予習復習しやすい。（後略）	実技科目では、必要な手技を授業内で実際に確認・練習することを重視しています。予習・復習も大切ですが、まずは授業内の説明をよく聞き、一回一回の実習にしっかり取り組むことが、手技の習得につながります。必要に応じて実習の中で予習・復習に役立つ参考書や教材を紹介します。
問25	庶務課	（前略）他に機会がないので書きますが、学びには関連することとして学食を朝から開けてもらいたいです。朝食の営業が難しいならせめて場所は提供してほしい。他大学に比べて劣っています。	営業時間の延長につきましては、学生食堂運営事業者と継続して協議しております。利用状況、人員配置等とのバランスを踏まえ、実現の可能性を検討してまいります。
問26	管理課	10月まで冷房がついていてどの教室もとても寒く体調が崩しやすい時期だったため、どうにかしていただきたい。 全体を通して空調設備の寒暖差が激しすぎると感じた。 とても学習しやすい環境とは言い難い日々を送っていた。	講義棟については、これまで教員より夏季の室温が高すぎるとの意見が多数寄せられており、11月に実施される学園祭においても室内が暑いとの意見があったことから、暖房切替を11月上旬として運用してきました。これに伴い2024年度より、講義室の個別空調及びキャンパス全体に係る大型機器の更新を順次実施した結果、冷房効率が改善し室温が下がる傾向になったと考えております。 外気温は年によって変動するため一律の切替ルール化は難しいものの、これまでも外気温に応じて館内空調の調整を行っており、今後は機器の改善結果も踏まえ、暖房開始時期の見直しを進めていきます。 なお、ノース講義棟を中心に個別調整が可能な講義室もありますが、建物構造上、各室での細かな温度調整は難しい旨ご理解ください。エリア毎の調整には今後も可能な限り対応しますので、その際は管理課までご連絡ください。
問27	企画広報課	（前略）学部のインスタグラムや公式用の写真撮影として、授業等の様子を写真で撮ることが度々みられる。（中略）授業等での写真撮影について、「許可していないのになぜ撮影、ネットにあげているのか」とクレームをいれる学生が希にいる。（中略）このような学生がいることを注意喚起しておく。（後略）	授業等の写真撮影について、授業担当教員の了解を得たうえで、または担当教員からの依頼に基づき実施しております。 また、撮影及び掲載にあたっては、個人情報保護の観点から改めて各学部・学科及び各事務局において適切な対応を徹底してまいります。
問28	学事課（教務担当）	ホームページ個人情報の扱いについて 2024年12月のアンケートにおいて、再履修者の学籍番号および学部・学科が公開されている点について、個人情報および学生のプライバシーの観点から問題提起を行いました。 その後、約1年が経過した2025年12月に、「個人情報に配慮し、在学生向けページへの掲載方法変更を検討している」との回答が示されましたが、2026年1月現在においても、2024年12月当時と状況は一切変わっていません。 大学側が個人情報への配慮の必要性を認識しているにもかかわらず、1年以上にわたり具体的な対応が実施されていない現状は、単なる対応の遅れではなく、学生からの意見を実質的に放置している状態であると受け取られても仕方がないと感じています。 「検討している」という回答が1年以上継続しているにもかかわらず、その検討内容、進捗状況、実施時期について一切説明がなされていないことは、学生に対する説明責任を果たしているとは言い難いのではないでしょうか。 また、学生の利便性を理由に公開を継続しているとの説明がありますが、再履修者の学籍番号や所属情報を広く閲覧可能な状態に置くことが、果たしてどの学生の利便性を高めているのか、明確な説明が示されていない点にも強い違和感を覚えます。 個人情報への配慮が必要であると認識しながらも現状を維持しているのであれば、それは結果として学生のプライバシーよりも大学側の運用上の都合を優先していると受け取られかねません。 学生アンケートは、学生の声を大学運営に反映させるための重要な仕組みであるはずです。しかし、問題提起から1年以上が経過しても具体的な改善が行われず、同じ状況が続くのであれば、アンケートが実質的に形式的な意見収集にとどまっているのではないかという疑念を抱かざるを得ません。 今後、学生から寄せられた意見に対し、大学としてどの程度の期間内に結論や対応方針を示すのか、また進捗状況をどのように学生へ共有するのかについて、明確な基準を設けることを強く求めます。 「検討している」という回答が繰り返されるだけでは、学生の意見が実際の改善を前提として扱われているのか判断できません。検討という言葉で事実上対応を先送りするのではなく、また、この一年間、大学として何をどのように検討してきたのか、ご教示下さい。	履修に必要な情報については、学生の皆さんがどこにいても同じ内容を閲覧できるよう、浦安キャンパスサイトに掲載してきました。一方で、在学生のみに必要な情報については、個人情報に配慮し外部からの閲覧を制限すべきとの意見について、掲載方法の変更を検討してきました。 検討の結果、2026年3月から学籍番号及び学部・学科が記載されている情報については、ID・パスワードを設定した在学生向けページへ移行しました。
問29	学事課（教務担当）	（前略）自分自身留学や履修のことなどで学事課に行かせてもらう機会が多かったが、対応が曖昧だったり適当だと感じたことが何回かあり、もう少し責任感を持って欲しいと感じてしまった。(丁寧に対応してくださった方も勿論いました)	窓口対応について、ご不安やご不便を感じさせてしまい、申し訳ございません。 留学や履修に関するお問い合わせは、制度が複雑で、学部・学科や年次によって取扱いが異なり、お問い合わせの内容が他部署の取扱事項である場合もあります。そのため、担当者によって説明の仕方に差が生じていた可能性があります。 今後は、窓口において、適切なご説明とご案内が可能となるよう。問い合わせの多い事項について課内で内容を共有し、適切な回答を心掛けてまいります。
問30	学事課（教務担当）	学事課に向けて、提出物などで集めるのが大変な書類を早くて1週間、遅くて2週間と期限が設けられた。無理にとは言われていなかったが、公的な書類を集めるのにもっと時間が必要なのではないかと思った。生徒の立場を考えるのも管理棟の人達の役目という風に思っていた。そこだけ少し不満があった。	書類の提出期限までの日数が短い場合について、本来であれば手続きに必要な時間を十分確保した上で締切を設定すべきものですが、大学側の事情でそのような設定となっている場合は大変申し訳ございません。また、やむを得ず公表から締切までの日数が少ない状況でご案内せざるを得ない場合があります。多くの手続には、提出締切後に学内での審査や関係機関への提出手続といった後続の日程があり、これに間に合わない場合、申請そのものが認められない、又は次の機会まで待たなければならないことがあります。そのため、結果として短い期限での提出をお願いする場合があります。 期限までの提出が難しい場合は、学事課窓口にご相談ください。

2025年度学修成果等アンケートの自由記述欄に記載された意見についての回答について

No.	回答作成	学生の意見	回答
問31	学事課（教務担当）	基本的に先生は優しく接してくれて問題などにも対応してくれている。先生の事情により授業がない時はもう少し早く知らせて欲しい。	休講は、担当教員から大学に連絡が入り次第、Webポータルシステム及び明海大学公式アプリのお知らせにより速やかにお知らせしています。ただし、教員の急な体調不良や交通機関の乱れなど授業開始の直前に判明する場合があり、連絡が直前になることがあります。
問32	学生支援課	明海大学が実施している成績優秀者に対して留学費を負担する制度や、夢プロジェクトなどはとても良い取り組みだと思う。しかし、それが学生にあまり周知されていないのが勿体ないと感じる。もっと宣伝や知らせをすれば学生達の勉学へのモチベーションの向上に繋がると思う。（後略）	本件につきましては、現在も同窓会ホームページやSNS、Webポータルシステム、学内掲示及び案内ノベルティの配布等を通じて周知を行っております。 より多くの学生の皆様へ情報が行き届くよう、同窓会とも連携・相談のうえ、さらなる周知方法の検討を進めてまいります。
問33	国際化推進室	外国人なんですけど、同じ国籍が学部内にはいなくていつも単独行動していて情報収集あまり出来なくて、同類で同国籍の少ない学生を会わせて仲良くする機会やチャンスがあれば唯一の私みたいな一匹狼な学生を心強くして頂ければ幸いです	本学には、外国人留学生の支援や国際交流を目的とした学友会留学生連合会があります。外国人学生との交流を希望する学生も活動への参加等について相談することができます。活動内容の詳細については、学生支援課（学生支援担当）窓口にお尋ねください。
問34	国際化推進室	明海大学が実施している成績優秀者に対して留学費を負担する制度や、夢プロジェクトなどはとても良い取り組みだと思う。しかし、それが学生にあまり周知されていないのが勿体ないと感じる。もっと宣伝や知らせをすれば学生達の勉学へのモチベーションの向上に繋がると思う。（後略）	本学には、成績優秀者に対して費用の全額を大学が負担して実施する奨学海外研修をはじめ、大学が費用の一部を負担して実施する海外研修や海外留学がありますが、各学部学科が特色を生かしたプログラムを計画しているため、年度初めの学科オリエンテーションで説明しています。奨学金制度については、CAMPUS GUIDEに掲載しておりますが、各プログラムの募集説明会で詳細を説明しています。募集説明会については、皆さんへの周知を一層徹底するため、Webポータルシステムによる掲示配信の他、大学公式アプリからの配信も検討します。
問35	DX推進室	出席の際に使うWebポータルやmanabaの小テスト、アンケートを用いて行う授業で大学のWiFiに接続できない事が多々ある。改善して欲しい	端末の電源を入れたまま移動していると、同一フロアの他のAPに接続情報が残ってしまったり、また、既に満席状態の入口付近のAPに接続が集中し動作不良を引き起こすなどの要因がございます。これらのWi-Fi設備の特性を補うために、タイムアウト時間を早めるなどの対策は常に行っておりますが、個人で行える対策として、Wi-Fiの設定を一度削除し接続しなおすなどで改善される場合がございますのでご協力をお願いいたします。また、端末固有の原因も考えられますので、対象の端末を持参の上、講義棟６階のDX推進室にご相談ください。
問36	図書館	図書館（中略）の開放時間を増やしてほしい	現在の利用状況をみると、19時以降の利用者は授業期間中や定期試験前でもそれほど多くないため、開館時間の延長はできませんが、今後の入館者の時間帯別利用動向を分析しながら、必要性について検討していきます。